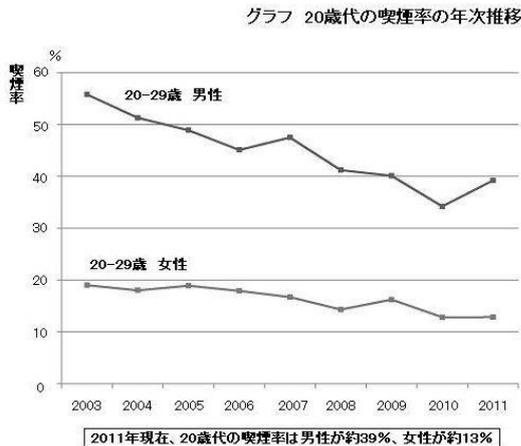


<< 北品川禁煙通信 >>

第 23 号：若い世代も禁煙治療が受けやすくなります

◇ 20 代のニコチン依存症の治療促進へ。厚生省が基準緩和に動く。

◇ NHK 経営委員に元 JT 社長が・・・



若年層（20 歳代）のニコチン依存症患者の治療促進のために、厚生省は 11 月 15 日に開かれた中央社会保険医療協議会の総会において従来の治療開始基準を緩和することを決定しました。

禁煙外来でのニコチン依存症治療では、治療を開始するための基準があります。その中にブリンクマン指数（B. I.）というものがあります。これは、一日に吸うタバコの本数と喫煙年数の積で表されます。つまり、一日 20 本のタバコを 30 年吸えば 600 というわけです。現在の基準では B. I. が 200 以上でないと治療が受けられない事になっています。

すると、20 歳代の若年層ではこの基準を満たさない患者も多く治療が受けられないのです。これは大きな問題でした。なぜならニコチン依存症は若年で喫煙を開始するほど重症になるため早期の治療が欠かせないからです。

多くの医療機関からこうした苦情は厚生省に寄せられていましたので、今回ようやく基準緩和に至ったのでしょう。2014 年度の診療報酬改定で対応する予定です。

あまり大きく報道されてはいませんが、去る 10 月 25 日の衆参両院議員運営委員会理事会で NHK 経営委員会の新しいメンバーに作家の百田尚樹氏ら 4 名が提示されました。ここで見過ごすことが出来ないのはこの中に日本たばこ産業（JT）顧問の本田勝彦氏が含まれていることです。

実は、今年の 5 月、経営委員会の新たな会長にこの本田氏を推す動きがありましたが、野党の反対で国会会期が延長するのを恐れた自民党が自ら案を引っ込めたのです。日本禁煙学会も反対しました。それは、タバコ会社の人間が公共性を重んじる NHK の経営委員会に入ることは世界保健機構（WHO）の定める国際条約である『タバコ規制枠組条約（FCTC）』に違反するからです。

いったんはボツになったこの会長人事ですが、今度は同氏を委員として潜り込ませる形で再浮上してきたというわけです。ゆくゆくは会長にと考えているのでしょう。聞くとところによると、本田氏は安倍首相が学生時代に家庭教師として安倍家に出入りしてい

たという事ですから公私混同も甚だしいと言えます。日本禁煙学会では再び抗議文を衆参両議院の議院運営委員会に送りました。今後の動向を見守りたいと思います。

◇ 拝啓、編集長殿



皆さんは「カーグラフィック」(以下CG)という自動車雑誌をご存知でしょうか。クルマ好きなら知らぬ者はいないほど有名な月刊誌です。昨年で創刊50周年を迎えた歴史ある同誌は、世界中の車を広く日本の読者に紹介し、試乗し、そして場合によっては所有してその良し悪しを詳細に評価するスタイルを創刊当時から守り続けています。毎回様々な特集が組まれており、読者を魅了しています。また、その名の通り美しい写真がふんだんに掲載されていて、眺めているだけでも十分に楽しめます。私も昔からの愛読者ですが、昨年の50周年記念号のあたりからある事実に気づきました。それは、フィリップモリスや日本たばこ産業(JT)の広告が載るようになったことです。私はびっくりするやらガツカリするやらで居てもたってもいられなくなり編集部にもメールを

送りました。その内容は、『日本を代表する、そして未成年の読者も多くなるCGがタバコの広告を載せるとはどういうことでしょう。広告費が必要であることも理解できますが、タバコ産業のターゲットがクルマ好きの若者であることを考えて是非タバコ広告をやめて欲しい』と言うものでした。しばらくしてから編集長から返事が来ましたが、その主旨はタバコ会社として大事なクライアントであるからないがしろにはできないといったものでした。私はガツカリして一時は購読をやめようかとも思いましたがその後、毎月送られてくるCGをパラパラとめくっていましたが、2,3か月後からはタバコ広告が再び消えていることに気付いたのです。そして現在まで、CGにはタバコ広告の載らない状態が続いています。これは私の勝手な思い込みではありますが、私の願いは届いたのではないかと考えています。(ありがとうCG・・・)

さすがに日本を代表するCGの編集長。雑誌のステータスを大事にしているのでしょうし、タバコと青少年との関係にも理解をしてくれているのではないかと信じています。

モータースポーツを含めたスポーツシーン全般からタバコ産業を締め出そうとする動きは世界規模で進められており、来る2020年の東京オリンピックでもその方針は貫かれるでしょう。

そんなに目くじら立てなくてもいいんじゃないの?と思う人もいるでしょう。しかし、そこにタバコ産業の計算しつくされた巧妙な罠が潜んでいるのです。未来を託す未成年をタバコの害から守るために、我々大人の責任は重大です。どんな些細なことでもタバコ産業は利用しようとしていると考え、我々も心構えをしていなければならないのです。